

平成31年2月19日(火)

本日第1学年ドローンプロジェクト

東日本大震災と原子力発電所事故から、もはや8年が過ぎようとしている。福島イノベーションコースト構想におけるスーパー・イノベーション・ハイスクール指定校として、本校第1学年生は本日、津波被害からどのように復旧復興を遂げてきたのか、今後の地域課題は何かについて、久之浜地区と薄磯・豊間地区にバスで全員が移動し、現地の語り部のお話を聞きながら、ドローンを打ち上げ、リアルタイムな映像とともに認識を深める学習を行います。

磐城高等学校SIH ドローン導入プロジェクト

導入に係る一連のプログラム

「磐高ドローンアカデミー」開講

- 期 日 平成31年2月中旬の1日
 - 会 場 第1講義室及び北体育館(調整中)
 - 講 師 株式会社スペースワン インストラクター
 - 対象者 本校教育活動において活用を予定または希望する団体等の生徒及び教員
 - 講座内容(90分程度)
 - ①座学講座(ドローンの歴史、仕組、未来等について)
 - ②ドローン操縦体験等(北体育館)
- ※受講者数は講座内容・会場等を考慮して調整することもある。

津波被災地区に関する探究活動

- 1 取組学年 第1学年
 - 2 対象地区 ①薄磯・豊間地区 ②久之浜地区
 - 3 指導計画
 - (1)事前学習・タブレットと放送委員会による記録映像を活用した該当地区の経緯と課題等の情報収集
 - (2)現地学習・平成31年2月19日(火)午後
 - ・バス7台を「①コース」「②コース」に別けて実施
 - ・いわき復興支援紹介の語り部7名を講師にした整理・分析研修
 - ・各コースにおいて鳥瞰的なリアルタイムドローン映像による現状確認・課題再発見等
- ※風雨によりドローン飛行不可の場合は事前に撮影しておいた映像提供
- (3)事後学習・現地学習の振り返り等まとめ・発表(①、②コース互いに発表し合う形式)